

学期 / Semester	2016年度 / Academic Year 後期 / Second Semester	曜日・校時 / Day・Period	水 / Wed 2
開講期間 / Class period	2016/09/30 ~ 2017/01/25		
必修選択 / Required/Elective class	必修, 選択 / required, elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20160575009001	科目番号 / Subject code	05750090
科目ナンバリングコード / Numbering Code	GEEX 11311_032		
授業科目名 / Subject	日本事情 / Japanese Studies		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	松島 大輔 / Matsushima Daisuke		
授業担当教員名 (科目責任者) / Professor in charge of the subject	松島 大輔 / Matsushima Daisuke		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Professor(s)	松島 大輔 / Matsushima Daisuke		
科目分類 / Class type	留学生用科目		
対象年次 / Year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Class Form	講義 / Lecture
教室 / Class room	[グローバル教育・学生支援棟] セミナー室(3)		
対象学生 (クラス等) / Object Student	留学生		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	daisuke-matsushima@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室/Laboratory	研究室：国際教育リエゾン機構2階教員室		
担当教員TEL/Tel	095-819-2454		
担当教員オフィスアワー/Office hours	木曜日10:30-12:00 (但し訪問する場合はメールで事前にアポイントメントを取ってください)		
授業の概要及び位置づけ/Course Outline and Objectives	授業のねらい：観光という切り口を通じて、日本を理解するとともに、多様な日本の地方文化を理解する。これらを観光ビジネスという次元で母国とリンケージさせることによって、将来の日本との連携の在り方について認識を深める。		
授業到達目標/Goal	日本、特に長崎・九州という我々の学び舎に対する理解を深めるとともに、地方を通じた日本と日本文化の理解を深め、留学生それぞれが、将来における日本との連携の在り方を模索する。		
授業方法 (学習指導法) /Method	講義に加え、インタラクティブなディスカッションやグループ発表、個別プレゼンテーションを前提とした実験グローバル教育を体験する。		
授業内容/Class outline/Con	<p>授業内容 (概要) :</p> <p>第 1 回 4月7日 (木) オリエンテーションと自己紹介、アンケート調査</p> <p>第 2 回 4月14日 (木) 持続的観光とは? 何故観光か? NRK、NRNとは? どこに売るか (セグメント) 等マーケティング</p> <p>第 3 回 4月21日 (木) グループ発表 1</p> <p>第 4 回 4月28日 (木) グループ発表 2</p> <p>第 5 回 5月12日 (木) グループ発表 3</p> <p>第 6 回 5月19日 (木) グループ発表 4</p> <p>第 7 回 5月26日 (木) グループ発表 5</p> <p>第 8 回 6月2日 (木) グループ発表 6</p> <p>第 9 回 6月9日 (木) グループ発表 7</p> <p>第 10 回 6月16日 (木) 個人発表 1</p> <p>第 11 回 6月23日 (木) 個人発表 2</p> <p>第 12 回 6月30日 (木) 個人発表 3</p> <p>第 13 回 7月7日 (木) 個人発表 4</p> <p>第 14 回 7月14日 (木) 個人発表 5</p> <p>第 15 回 7月21日 (木) まとめと授業評価 (アンケート調査)</p>		
キーワード/Key word	グローバル、クラスターリンケージ、持続可能観光、日本版DMO、NRN、NRK		
教科書・教材・参考書/Textbook, Teaching material, and Reference book	特に使用しない。教材は必要に応じて教員が学生に配布する。		
成績評価の方法・基準等/Evaluation	出席 & 授業参加20%、発表30%、レポート50%		
受講要件 (履修条件) /Requirements	高度な日本語の読み書き、ヒアリング能力を有していること		
アクセシビリティ/Accessibility			
備考 (URL) /Remarks(URL)			
学生へのメッセージ/Message for students	地方や「グローバル」について俯瞰して議論することで重層的な日本理解を喚起するとともに、留学生として新たな日本・地方の「発見」とその活用・実践を動機付けるので、日本の地方と母国を結び、グローバルな人材は集まってください。		

学期 / Semester	2016年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	水 / Wed 3, 水 / Wed 4
開講期間 / Class period	2016/04/06 ~ 2016/07/20		
必修選択 / Required/Elective class	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20160589000501	科目番号 / Subject code	05890005
科目ナンバリングコード / Numbering Code	GEEX 11111_032		
授業科目名 / Subject	日本語上級 / Advanced Japanese		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	松本 久美子 / Matumoto Kumiko		
授業担当教員名 (科目責任者) / Professor in charge of the subject	松本 久美子 / Matumoto Kumiko		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Professor(s)	松本 久美子 / Matumoto Kumiko		
科目分類 / Class type	留学生用科目, 編入学生教養教育科目認定単位		
対象年次 / Year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Class Form	講義 / Lecture
教室 / Class room	[グローバル教育・学生支援棟] セミナー室(3)		
対象学生 (クラス等) / Object Student	留学生		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	kumiko-m@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室/Laboratory	教養教育B棟 2階国際教育リエゾン機構教員室		
担当教員TEL/Tel	819-2242		
担当教員オフィスアワー/Office hours	水曜 5限		
授業の概要及び位置づけ/Course Outline and Objectives	日本の大学で学習・研究するのに必要な上級レベルの日本語能力(特に読解能力)を習得する。		
授業到達目標/Goal	上級レベルの文法や語彙・表現を習得するとともに、上級レベルの文章を読解する能力を獲得する。		
授業方法 (学習指導法) /Method	現代日本について書かれたさまざまな種類の文章を読む。基本的には教科書の課に沿って授業を進める。授業では、本文内容の大きな理解、文型・語彙・表現の確認、内容確認、文型・表現練習等を行う。 授業の最初にその課の語彙の小テストを行う。		
授業内容/Class outline/Con			
キーワード/Key word	上級レベル、読解能力		
教科書・教材・参考書/Textbook, Teaching material, and Reference book	『学ぼう!日本語中上級(日本語能力試験N1対応)』専門教育出版		
成績評価の方法・基準等/Evaluation	授業参加の積極性15%、宿題15%、テスト70%		
受講要件(履修条件)/Requirements	日本語能力試験2級合格相当、または日本留学試験(日本語科目)200点相当の日本語能力を有する留学生		
アクセシビリティ/Accessibility			
備考(URL)/Remarks(URL)			
学生へのメッセージ/Message for students	3校時目と4校時目の両方とも出席すること。一方のみの出席は認めない。		
授業計画詳細 / Course Schedule			
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents		
第1回	オリエンテーション・第1課		
第2回	小テスト・第1課		
第3回	小テスト・第2課		
第4回	小テスト・第3課		
第5回	小テスト・第4課		
第6回	小テスト・第5課		
第7回	小テスト・第6課		
第8回	テスト・復習		
第9回	小テスト・第7課		
第10回	小テスト・第8課		
第11回	小テスト・第9課		
第12回	小テスト・第10課		
第13回	小テスト・第11課		
第14回	小テスト・第12課		
第15回	テスト・復習		
第16回			

学期 / Semester	2016年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	水 / Wed 3, 水 / Wed 4
開講期間 / Class period	2016/04/06 ~ 2016/07/20		
必修選択 / Required/Elective class	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20160589000801	科目番号 / Subject code	05890008
科目ナンバリングコード / Numbering Code	GEEX 21211_032		
授業科目名 / Subject	日本語上級 a / Advanced Japanese a		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	松島 大輔 / Matsushima Daisuke		
授業担当教員名(科目責任者) / Professor in charge of the subject	松島 大輔 / Matsushima Daisuke		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Professor(s)	松島 大輔 / Matsushima Daisuke		
科目分類 / Class type	留学生用科目, 編入学生教養教育科目認定単位		
対象年次 / Year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Class Form	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育A棟14 / RoomA-14		
対象学生(クラス等) / Object Student	留学生		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	'daisuke-matsushima@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室/Laboratory	言語教育開発センター2階国際教育リエゾン機構教員室		
担当教員TEL/Tel	095-819-2454		
担当教員オフィスアワー/Office hours	木曜日10:20 - 12:00 (原則、事前にメールでアポを取ってください)		
授業の概要及び位置づけ/Course Outline and Objectives	<p>日本を知るには、「総体としての日本」を理解するだけでは不十分です。多様性と潜在性を胚胎した日本の各地方を理解し、その強みをクラスターというかたちで整理していくことは、今後の日本との付き合いにとって極めて重要なアプローチとなります。特に地方創生で地方の潜在性を強化するという日本の新しい動き、そしてサプライチェーンとバリューチェーンによって世界の生産と市場に結ばれた日本のトランスナショナルな位相を理解するには、個別の地方のクラスターと呼ばれる産業や技術、ノウハウの集積された地方を理解する必要があります。併せて、こうした日本の各地方に綺羅星のごとく存在するクラスターと、留学生の皆さんの母国を結びつける(クラスターリンクージ)ことによって、日本に学ぶみなさんに、母国・ふるさとと日本の地方との連携という新しい視座を提供するとともに、その具体的な方法論を提案します。</p>		
授業到達目標/Goal	<p>授業の目標は、日本人、日本企業、ことに日本の地方がどのような状態にあるのか、まずクラスターを通じた地誌として日本を理解することが目的です。そのうえで、「グローバル」の文脈で、日本の各地方の固有性を理解することが目標となります。さらに、本授業では、日本の各地方がもつ固有の強みを、留学生の母国・ふるさとと連携することによって、新しいイノベーションが生まれる可能性を理解するとともに、そのようなトランスナショナルな人材としてのイノベーションに向けた方法論を学びます。「ふるさと」と「ふるさと」の連携を生み出しましょう！</p>		
授業方法(学習指導法)/Method	インターネットや著作物を通じた日本語による情報収集能力を涵養し、グループごとや個人の発表を通じた日本語運用能力を向上させます。併せて、講義等を通じた日本語や日本に関する教養を高めます。		
授業内容/Class outline/Con	<ol style="list-style-type: none"> 1 4月6日(水) 授業オリエンテーション、アンケート調査、講義: クラスターとは? 地方創生、クラスターリンクージ、発表: 母国、生まれた土地の課題 2 4月13日(水) グループ発表: 九州ブロック 3 4月20日(水) グループ発表: 四国ブロック 4 4月27日(水) グループ発表: 中国ブロック 5 5月11日(水) グループ発表: 近畿ブロック 6 5月18日(水) グループ発表: 北陸ブロック 7 5月25日(水) グループ発表: 中部ブロック 8 6月1日(水) グループ発表: 甲信越ブロック 9 6月8日(水) グループ発表: 関東ブロック 10 6月15日(水) グループ発表: 東北・北海道ブロック 11 6月22日(水) クラスターリンクージ個人発表 12 6月29日(水) クラスターリンクージ個人発表 13 7月6日(水) クラスターリンクージ個人発表 14 7月13日(水) クラスターリンクージ個人発表 15 7月20日(水) 総括議論 		
キーワード/Key word	グローバル化、トランスナショナル、グローバル、クラスター、クラスターリンクージ		
教科書・教材・参考書/Textbook, Teaching material, and Reference book	テキストは使用しない		
成績評価の方法・基準等/Evaluation	授業参加: 発言やプレゼンテーション 30点 レポート: 70点		
受講要件(履修条件)/Requirements	<ul style="list-style-type: none"> ・高度な日本語の文章読解力、議論する力 ・英語のレポートを読む力 		
アクセシビリティ/Accessibility			
備考(URL)/Remarks(URL)			
学生へのメッセージ/Message for students	日本のグローバル化のパートナーとして今後飛翔するみなさん、そのために真摯な議論に参加して自分の意見を述べ、日本語できちんとしたレポートが書ける学生を歓迎します。		

学期 / Semester	2016年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	木 / Thu 3, 木 / Thu 4
開講期間 / Class period	2016/04/06 ~ 2016/07/21		
必修選択 / Required/Elective class	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20160589000802	科目番号 / Subject code	05890008
科目ナンバリングコード / Numbering Code	GEEX 21211_032		
授業科目名 / Subject	日本語上級 a / Advanced Japanese a		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	古本 裕美 / Furumoto Yumi		
授業担当教員名 (科目責任者) / Professor in charge of the subject	古本 裕美 / Furumoto Yumi		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Professor(s)	古本 裕美 / Furumoto Yumi		
科目分類 / Class type	留学生用科目, 編入学生教養教育科目認定単位		
対象年次 / Year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Class Form	講義 / Lecture
教室 / Class room	[グローバル教育・学生支援棟] セミナー室(3)		
対象学生 (クラス等) / Object Student	Regular under-graduate international students and International exchange students (under-graduate students)		
担当教員Eメールアドレス / E-mail address	furumoto[at]nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室 / Laboratory	Faculty of Environmental Studies (2nd floor)		
担当教員TEL / Tel			
担当教員オフィスアワー / Office hours	Wednesday 4th hour (14:30-16:00)		
授業の概要及び位置づけ / Course Outline and Objectives	1. Developing the following skills needed to study in Japanese colleges: (1) Japanese language skills, (2) Interpersonal/Interpretive/Presentational communication skills, and (3) Problem solving skills 2. Acquiring the effective learning cycle (preparation, attending classes and review)		
授業到達目標 / Goal			
授業方法 (学習指導法) / Method			
授業内容 / Class outline/Con			
キーワード / Key word	Stereotypes, Japan, Japanese People, Diversity		
教科書・教材・参考書 / Textbook, Teaching material, and Reference book	KONDO Atsuko and MARUYAMA Chika, Abroad In Komaba, The University of Tokyo (2008) "For Pre-Advanced and Advanced Learners of Japanese: Images of Japan, 2nd Edition, Text" University of Tokyo Press.		
成績評価の方法・基準等 / Evaluation	Your grade will be computed as follows: (1) Attendance and Participation (10%) (2) Assignments (45%) (3) Quizzes (10%) (4) Mid-term Exam (10%) (5) Final Exam (15%) (6) Shadowing (10%)		
受講要件 (履修条件) / Requirements	<ul style="list-style-type: none"> Regular under-graduate international students who were permitted to take this level courses. International exchange students who were permitted to take this level courses. You must attend both periods (3rd hour and 4th hour). 		
アクセシビリティ / Accessibility	<p>In order to ensure equal educational opportunities for all students, Nagasaki University strives to remove societal barriers that may interfere with academic activities, and to provide reasonable accommodations as necessary and appropriate. If you have any questions or concerns regarding reasonable accommodations or other support in this class, please feel free to talk to the instructor (contact information above), or contact the Student Accessibility Office.</p> <p>Student Accessibility Office contact information (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp</p>		
備考 (URL) / Remarks (URL)	Student Accessibility Office [http://www.sao.nagasaki-u.ac.jp/] LACS [https://lacs.nagasaki-u.ac.jp/]		
学生へのメッセージ / Message for students	You're suppose to take and submit your assignments through LACS (a kind of LMS). You can also see your current grade points of this course on LACS.		
授業計画詳細 / Course Schedule			
回 (日時) / Time (date and time)	授業内容 / Contents		
1st	Introductions		
2nd	(1) Japanese for Conversation with Your Friends and Supervisors (2) Japanese for Writing Essays		
3rd	(1) Japanese for Writing Essays (2) Japanese for Presentation		
4th	Mid-term Exam, "Images of Japan and Japanese People"		

5th	Subject A (1) Understanding of the Reading Materials (2) Sharing what you read and understood and Discussions
6th	Subject A: (3) Understanding of the Reading Materials (4) Sharing what you read and understood and Discussions (5) Grammar & Vocabulary Exercises (6) Quiz
7th	Subject B: (1) Understanding of the Reading Materials (2) Sharing what you read and understood and Discussions
8th	Subject B: (3) Understanding of the Reading Materials (4) Sharing what you read and understood and Discussions
9th	Subject B: (5) Grammar & Vocabulary Exercises (6) Quiz
10th	Subject C: (1) Understanding of the Reading Materials (2) Sharing what you read and understood and Discussions
11th	Subject C: (3) Understanding of the Reading Materials (4) Sharing what you read and understood and Discussions
12th	Subject C: (5) Grammar & Vocabulary Exercises (6) Quiz
13th	Subject D: (1) Understanding of the Reading Materials (2) Sharing what you read and understood and Discussions
14th	Subject D: (3) Understanding of the Reading Materials (4) Sharing what you read and understood and Discussions
15th	Subject D: (5) Grammar & Vocabulary Exercises (6) Quiz
16th	Review & Final Exam

学期 / Semester	2016年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	木 / Thu 3, 木 / Thu 4
開講期間 / Class period	2016/04/06 ~ 2016/07/21		
必修選択 / Required/Elective class	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20160589000802	科目番号 / Subject code	05890008
科目ナンバリングコード / Numbering Code	GEEX 21211_032		
授業科目名 / Subject	日本語上級 a / Advanced Japanese a		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	古本 裕美 / Furumoto Yumi		
授業担当教員名 (科目責任者) / Professor in charge of the subject	古本 裕美 / Furumoto Yumi		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Professor(s)	古本 裕美 / Furumoto Yumi		
科目分類 / Class type	留学生用科目, 編入学生教養教育科目認定単位		
対象年次 / Year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Class Form	講義 / Lecture
教室 / Class room	[グローバル教育・学生支援棟] セミナー室(3)		
対象学生 (クラス等) / Object Student	正規学部留学生, 一般交換留学生 (学部生のみ)		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	furumoto[at]nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室/Laboratory	環境科学部 2階 (東奥)		
担当教員TEL/Tel			
担当教員オフィスアワー/Office hours	水曜日 4校時 (14:30~16:00)		
授業の概要及び位置づけ/Course Outline and Objectives	<ul style="list-style-type: none"> ・日本の大学で学ぶために必要な日本語力, 情報伝達力, 問題解決能力などを身につける。 ・授業の他に, 予習と復習にも重きを置き, 効果的な学習サイクルを身につける。 		
授業到達目標/Goal	<ul style="list-style-type: none"> ・中上級レベルの文章を正確に理解し, まとめ, それを他者に正確に伝えられるようになること。 ・能動的に考えられるようになること。 ・自他の文化, 考え, 言語への理解を深めた後, その背景の分析や, 問題解決ができるようになること。 ・効果的なプレゼンテーション (情報伝達) ができるようになること。 		
授業方法 (学習指導法) /Method	<ul style="list-style-type: none"> ・授業前半は, 日本語でのレポートの書き方, プレゼンテーションの仕方など, 基本的なアカデミック・ジャパニーズを学ぶ。 ・授業後半は, 教科書に沿って, 読解, 情報伝達, ディスカッション等を繰り返す。 ・日本での留学生活に必要な日本語運用能力を伸ばすため, シャドーイング練習を行う。 ・LACSを利用して, 宿題の受け取り, 提出等を行う。 		
授業内容/Class outline/Con	授業前半 (4月7日~4月28日) は, 基本的なアカデミック・ジャパニーズを学習する。授業後半 (5月12日~7月21日) は, 教科書に沿って授業が行われる。		
キーワード/Key word	ステレオタイプ, 日本, 日本人, 多様化		
教科書・教材・参考書/Textbook, Teaching material, and Reference book	『中・上級日本語教科書 日本への招待 (第2版) : テキスト』 (東京大学AICOM日本語プログラム・近藤安月子・丸山千歌 (編著), 東京大学出版, 2,400円 (税抜))		
成績評価の方法・基準等/Evaluation	次の6つを総合的に評価する。 1. 授業への貢献度 (10%) 2. 宿題 (45%) 3. クイズ (10%) 4. 中間試験 (10%) 5. 最終発表 (15%) 6. シャドーイング (10%)		
受講要件 (履修条件) /Requirements	<ul style="list-style-type: none"> ・プレースメントテストで受講を認められた正規学部留学生 ・プレースメントテストで受講を認められた学部所属の一般交換留学生 ・木曜日の3校時目と4校時目の両方に出席すること 		
アクセシビリティ/Accessibility	<p>長崎大学では, 全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため, 修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては, 担当教員 (上記連絡先参照) または「アシスト広場」 (障がい学生支援室) にご相談下さい。</p> <p>アシスト広場 (障がい学生支援室) 連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp</p>		
備考 (URL) /Remarks(URL)	アシスト広場 [http://www.sao.nagasaki-u.ac.jp/] LACS [https://lacs.nagasaki-u.ac.jp/]		
学生へのメッセージ/Message for students	LACSを利用して, 宿題を受け取ったり, 提出したりします。よくチェックしてください。また, LACSでは, 現在の自分の評価をチェックすることもできます。		
授業計画詳細 / Course Schedule			
回 (日時) / Time (date and time)	授業内容 / Contents		
第1回 (4月7日)	オリエンテーション		
第2回 (4月14日)	(1) メールとレポートの日本語 (2) 友人や先生との日本語		
第3回 (4月21日)	(1) レポートの日本語 (2) プレゼンテーションの日本語		

第4回 (4月28日)	中間試験, 「イメージの日本・日本人」
第5回 (5月12日)	テーマA 資料1～3の情報共有とディスカッション
第6回 (5月19日)	テーマA 資料4～5の情報共有とディスカッション テーマA まとめ, 語彙・文型の理解と練習, クイズ
第7回 (5月26日)	テーマB 資料1～3の情報共有とディスカッション
第8回 (6月2日)	テーマB 資料4～6の情報共有とディスカッション
第9回 (6月9日)	テーマB まとめ, 語彙・文型の理解と練習, クイズ
第10回 (6月16日)	テーマC 資料1～3の情報共有とディスカッション
第11回 (6月23日)	テーマC 資料4～5の情報共有とディスカッション
第12回 (6月30日)	テーマC まとめ, 語彙・文型の理解と練習, クイズ
第13回 (7月7日)	テーマD 資料1～3の情報共有とディスカッション
第14回 (7月14日)	テーマD 資料4～5の情報共有とディスカッション
第15回 (7月21日)	テーマD まとめ, 語彙・文型の理解と練習, クイズ
第16回 (7月28日)	まとめ, 期末試験

学期 / Semester	2016年度 / Academic Year 後期 / Second Semester	曜日・校時 / Day・Period	水 / Wed 3, 水 / Wed 4
開講期間 / Class period	2016/09/30 ~ 2017/01/25		
必修選択 / Required/Elective class	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20160589001101	科目番号 / Subject code	05890011
科目ナンバリングコード / Numbering Code	GEEX 21221_032		
授業科目名 / Subject	日本語上級 b / Advanced Japanese b		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	松島 大輔 / Matsushima Daisuke		
授業担当教員名 (科目責任者) / Professor in charge of the subject	松島 大輔 / Matsushima Daisuke		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Professor(s)	松島 大輔 / Matsushima Daisuke		
科目分類 / Class type	留学生用科目, 編入学生教養教育科目認定単位		
対象年次 / Year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Class Form	講義 / Lecture
教室 / Class room	[グローバル教育・学生支援棟] セミナー室(3)		
対象学生 (クラス等) / Object Student	1年, 2年, 3年, 4年		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	daisuke-matsushima@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室/Laboratory	言語教育開発センター2階国際教育リエゾン機構教員室		
担当教員TEL/Tel	095-819-2238		
担当教員オフィスアワー/Office hours	火曜日12:50 - 14:20 (但し面談を希望する場合は事前にメールにてアポを取る)		
授業の概要及び位置づけ/Course Outline and Objectives	2020年東京オリンピックに向け、日本のなかでは、官民を挙げて対外発信が加速している。しかしながら、日本の総体的な地位については、必ずしもこれまで通りとは言い難い状況である。こうした状況を踏まえ、今後、100年、1000年単位で、「日本」という文明が、世界に貢献するとしたら、どのようなものが「日本遺産」(Not Japan Heritage but Japan Legacy)として継承されるのか、特に日本を学ぶ視点を通じて整理し、その学理的体系を構築する。新たな「レガシー」の始まりである。		
授業到達目標/Goal	授業の目標は、日本語能力構築、上級としての運用スキルの確立(特に実用日本語としてのポイントに注力します)、日本学としての総合力の確立と各位の学習履歴の総括、教養としての日本学、日本力の確立、を目指します。		
授業方法 (学習指導法) /Method	積極的にアクティブラーニングの手法を導入し、日本を学ぶに際しての、「知の技法」を理解するとともに、自ら学び、自ら考える方法を涵養します。		
授業内容/Class outline/Con	<ol style="list-style-type: none"> 1. 10月5日(水) 授業オリエンテーション・日本遺産コンセプト・ディスカッション 2. 10月12日(水) 企業 3. 10月19日(水) 衣 4. 10月26日(水) 食 5. 11月2日(水) 住 6. 11月9日(水) 技術 7. 11月16日(水) 建築 8. 11月30日(水) 祭 9. 12月7日(水) 習慣 10. 12月14日(水) 観光地 11. 12月21日(水) 人物 12. 1月4日(水) 問題作成・発表 13. 1月11日(水) 問題作成・発表 14. 1月18日(水) 問題作成・発表 15. 1月25日(水) 総括議論・結論 		
キーワード/Key word	日本遺産、日本学・日本研究(ジャパノロジー)、「日本力」		
教科書・教材・参考書/Textbook, Teaching material, and Reference book	特段固有のテキストは使用しない。		
成績評価の方法・基準等/Evaluation	授業参加: 発言やプレゼンテーション 30点 レポート・試験: 70点		
受講要件 (履修条件) /Requirements	高度な日本語の文章読解力、議論する力		
アクセシビリティ/Accessibility	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談ください。アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095 -819 -2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@m1.nagasaki-u.ac.jp		
備考 (URL) /Remarks(URL)			
学生へのメッセージ/Message for students	日本学・日本研究を専攻するみなさんに「日本力」を試す授業となります。真摯な議論に参加して自分の意見を述べ、日本語できちんとしたレポートが書ける学生を歓迎します。		

学期 / Semester	2016年度 / Academic Year 後期 / Second Semester	曜日・校時 / Day・Period	木 / Thu 3, 木 / Thu 4
開講期間 / Class period	2016/09/30 ~ 2017/01/26		
必修選択 / Required/Elective class	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20160589001102	科目番号 / Subject code	05890011
科目ナンバリングコード / Numbering Code	GEEX 21221_032		
授業科目名 / Subject	日本語上級 b / Advanced Japanese b		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	永井 智香子 / Nagai Chikako		
授業担当教員名 (科目責任者) / Professor in charge of the subject	永井 智香子 / Nagai Chikako		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Professor(s)	永井 智香子 / Nagai Chikako		
科目分類 / Class type	留学生用科目, 編入学生教養教育科目認定単位		
対象年次 / Year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Class Form	講義 / Lecture
教室 / Class room	[グローバル教育・学生支援棟] セミナー室(3)		
対象学生 (クラス等) / Object Student	学部正規留学生、学部所属交換留学生		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	nagai@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室/Laboratory	環境科学部 2F		
担当教員TEL/Tel	095-819-2239		
担当教員オフィスアワー/Office hours	金曜 5限		
授業の概要及び位置づけ/Course Outline and Objectives	テレビ番組のドキュメンタリーなどを10分程度に編集したものを教材として授業を行い、日本語運用能力の向上を目指す。特に語彙と日本語の連語の知識の増加を目指す		
授業到達目標/Goal	この授業を通じて、日本語の力の向上が実感できるというだけでなく、昭和から平成のかけての時代の変化についての知識も得られるということを目指したい		
授業方法 (学習指導法) / Method	ビデオを視聴することと、その内容に関するハンドアウトを使いながら授業を進める。また、毎週火曜の3校時目に小テストを行う。		
授業内容/Class outline/Con			
キーワード/Key word	高度経済成長		
教科書・教材・参考書/Textbook, Teaching material, and Reference book	テレビ番組を編集したビデオ ハンドアウト		
成績評価の方法・基準等/Evaluation	小テスト 50% 授業への取り組み 20% 作文 30% (変更の可能性あり、変更した場合は初日のオリエンテーションで伝える)		
受講要件 (履修条件) / Requirements	プレースメントテストで受講を認められた学部正規留学生 プレースメントテストで受講を認められた学部所属の交換留学生		
アクセシビリティ / Accessibility	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp		
備考 (URL) / Remarks(URL)			
学生へのメッセージ/Message for students			
授業計画詳細 / Course Schedule			
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents		
第1回	オリエンテーション ウォーミングアップ		
第2回	日本語の書き言葉の練習		
第3回	見るビデオの内容に関連したことについて話し合う ビデオ視聴 ハンドアウトを使って日本語運用練習		
第4回	小テスト 見るビデオの内容に関連したことについて話し合う ビデオ視聴 ハンドアウトを使って日本語運用練習		
第5回	小テスト 見るビデオの内容に関連したことについて話し合う ビデオ視聴 ハンドアウトを使って日本語運用練習		

第6回	小テスト 見るビデオの内容に関連したことについて話し合う ビデオ視聴 ハンドアウトを使って日本語運用練習
第7回	小テスト 見るビデオの内容に関連したことについて話し合う ビデオ視聴 ハンドアウトを使って日本語運用練習
第8回	小テスト 見るビデオの内容に関連したことについて話し合う ビデオ視聴 ハンドアウトを使って日本語運用練習
第9回	小テスト 見るビデオの内容に関連したことについて話し合う ビデオ視聴 ハンドアウトを使って日本語運用練習
第10回	小テスト 見るビデオの内容に関連したことについて話し合う ビデオ視聴 ハンドアウトを使って日本語運用練習
第11回	小テスト 見るビデオの内容に関連したことについて話し合う ビデオ視聴 ハンドアウトを使って日本語運用練習
第12回	小テスト 見るビデオの内容に関連したことについて話し合う ビデオ視聴 ハンドアウトを使って日本語運用練習
第13回	小テスト 見るビデオの内容に関連したことについて話し合う ビデオ視聴 ハンドアウトを使って日本語運用練習
第14回	小テスト 見るビデオの内容に関連したことについて話し合う ビデオ視聴 ハンドアウトを使って日本語運用練習
第15回	小テスト 見るビデオの内容に関連したことについて話し合う ビデオ視聴 ハンドアウトを使って日本語運用練習
第16回	